



特定非営利活動法人 子育て応援団ゆうわ

理事長 齋藤 勇介 さん

「すべての子どもたちの笑顔のために」

「子どもや子育てに関わる方々を支援するため、地域でつながり、子育てをする仕組みづくりを行っています」。

柔らかい笑みでそう話すのは、特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ理事長である齋藤勇介さん。

同法人は、市内にある児童センターや保育所の管理運営、プレーパーク(31頁参照)や子育てイベントなどを行っている。齋藤さん自身は、全体のマネジメントのほか、次世代育成のため子育てをテーマに講演などを行っている。

保育士としても経験が豊富で、子どもと向き合う際は「遊び」を大切にしているとのこと。子どもの主体性や自主性を大事にしたいという思いから、指導をしすぎないように心掛けている。「大きな事故にならないよう配慮はもちろんします。ですが、失敗できる環境も大切にすることで、子ども自身のさまざまな経験をともに、子どもたちの生きる力をはぐくんでいきたいのです」。

「子育てに悩む人々を地域で支え支援すること。それは子どもたちの笑顔のため。『将来、私たちのような団体が必要とされなくなる社会がくるといいですね』。そう話す齋藤さんは、今日もすべての子どもたちの幸せを願い、各地を奔走している。

Friendship with Canada



カナダとの作品交流事業

これまで中学生海外派遣・受入事業を実施してきたカナダのスーク市との新たな交流として、今年度は絵画の交流を行っています。

市内中学校美術部の生徒たちがカーネーションやメイプル館など、名取を紹介する絵を思い思いに描き、応募された32点の作品がスーク市に送られました。

作品はスーク市と名取市をつなぐ懸け橋となります。

問 なとりの魅力創生課国際交流・広報係

☎724-7143

応募作品の一部

